

FEEL MY FOOT STEPS

足音を感じて。 わたしのテンポで。 しなやかに変化に寄り添う レッグウェア。 しなやかに今日を生きる。足元から、変化する日々に寄り添う「FEEL MY FOOTSTEPS」が誕生します。

「FEEL MY FOOTSTEPS」は、社会や人と人との繋がり、 ライフスタイルや環境がゆらぐ今日、しなやかに変化する 自分に寄り添う、一歩踏み出すすべての人の背中をそっと 押してくれるレッグウェア。

わたしとあなた。肌の色や使う言語、生まれた育った場所に ジェンダーや年齢・・・・・さまざまな境界の"間"で一歩踏み出し てみると、歩幅が同じ人は一人としていない。そして今日の わたしと明日のわたしの一歩もまた、きっとまったく違う一 歩だ。歩み寄ったり離れたりしながら受け入れたり、受け入 れられなかったり。感じることや考えること、得意なことや 苦手なこと。あなたとの一歩から、目に見えない曖昧な価 値観、距離感を愉しめるような日々をともにしたい。

アーティスト・ミズタユウジ氏をブランドディレクターに迎え、表現や身に纏うファッションの定義を超え、独自のモチーフや言葉をあしらったソックスはユニセックスの2サイズ展開。レッグバンドやシルクスカーフなど、人それぞれのスタイルで変化を愉しむことができるアイテムも用意しました。

FEEL MY FOOT STEPS

Concept コンセプト

Quality 製造と品質 「足音を感じて」というコンセプトとともに、心と身体、人と人、内と外、あらゆるものごとの間で、変容する日々に足もとから始まるライフデザインブランドとして2021 F/Wよりスタート。しなやかに変化を愉しめるよう、ミズタユウジ氏による一人ひとりの感覚に素直に寄り添う遊び心とメッセージを忍ばせたデザインに加え、アートやジェンダーレスな価値観をソックスというプロダクトを通じて、軽やかに世の中に広めていきます。

靴下の編み機は1つの機械でできることが限られ、目的に合わせて異なるためこの機械は世界で1つだけということも珍しくありません。初回は創造性を豊かに表現できるようにニュアンスカラーが美しいイタリアの糸を選び、まだ世界中にそれほど多くはないつま先の仕上げを「平ら」に編むことができるフィンランドの工場に生産を依頼しました。今後は生産国にしばられることなく、世界でたった1つを世界中から見つけて、上質な靴下を提供します。

COLLECTION

デザイン全15型 サイズ 2種 S-M 約22-24cm M-L 約25-27cm

写真左

fluffy socks $\pm 2,800-\pm 3,600$ wool loose socks $\pm 3,600-\pm 3,700$ wool flat socks $\pm 2,600-\pm 2,900$

写真右上 Silk scarves 3色 ¥ 18,000 写真右下 Leg band 6種 ¥2,200-¥2,400(2個セット)







fluffy socks / WINDOW flat socks / WINDOW 2

窓にはあなたがみる姿、僕が映る 姿、そこから透けてみえるあなたの 姿があります。生き方や時間、景色 を身に纏う人々をも映し出す"窓"をモ チーフにしたデザイン。 fluffy socks / LATTICE

色と色の間には何が見えるのか。異なる2つの色を隣り合わせに置くと、視覚的錯覚でそこには無い色も見えてきます。人が目で見ている視覚情報や固定概念の曖昧さをコンセプトに2色の幾何学模様を施しました。

fluffy socks / DOTS fluffy socks / ROSE loose socks / WILD DREAM

"walking thru this wild dream"と一見ポエティックな印象を与える一節が編まれたソックス。靴下として体を保護する(守ってほしい)役目も持ち合わせながら、"こんな世の中、堂々と歩いてやるぜ!"というパンクな一面を足元に忍ばせたデザイン。

leg band fluffy socks / CLOVER

what do you love most about me? I love the way you walkと編まれたレッグバンド。友人同士、愛し合う人同士、家族同士、そして全く知らない人同士も。些細なキャッチボールから相手との"間"や愛情に思いを馳せる、ブランドのフィロソフィーを感じられるデザイン。



EVENT

FEEL MY FOOTSTEPS 2021F/W

| 会期 | 2021年11月8日(月)-11月14日(日)

|開館|11:00-19:00

|会場 | SPIRAL エントランス

〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 https://www.spiral.co.jp

*スパイラルEC:2021年11/8-2022年1/6まで全商品展開





POP UP SCHEDULE

ISETAN MART (EC) 10月20日(水)~1月6日(木) 銀座蔦屋書店ステーショナリー 10月1日(金)~10月31日(日) 阪神梅田本店2Fイベントテラス 11月3日(水)~11月9日(火) 西宮阪急 4 F メンズイベント 11月10日(水)~11月16日(火) その他* 伊勢丹新宿店1F ISETAN Seed/二子玉川蔦屋家電 六本松蔦屋書店(*日程が確定次第お知らせいたします)

CREATIVE STAFF PROFILE

Brand director and designer Yuji Mizuta Photographer Satomi Yamauchi Choreographer Mao Nakagawa Model SEIRA/COCO/中川麻央/堀栄子/ William Galopin/Nelson Hor/HITOMI Founder Hitomi Nakagawa

株式会社 FMFS かぶしきがいしゃ ふむふす

誰かの価値観にしばられることなく、自分の価値観をおしつけることなく、ひとそれぞれの普通を受け入れ、お互いの価値観を理解し合 える世の中になっていってほしい。「あなたの普通 わたしの普通」という思想のもと、アートとデザインを横断し、レッグウエアを中心 に上質なライフスタイルプロダクトやアート、情報を発信していきます。

ブランドサイト www.feelmyfootsteps.com コーポレートサイト fmfs.co.jp

PRESS CONTACT

daily press(デイリープレス) 川村美帆 | mihokawamura@dailypress.org

tel.03-6416-3201

Interview Yuji Mizuta & Hitomi Nakagawa

中川一未(以下中川):日々生活していると、無意識のうちにあたりまえになっていること。無意識のうちに、気にしてしまうことがあったりします。例えば仕事終わり、ヘトヘトになってしまった夜。疲れて家族に夕食が作れなかった自分を、無意識に責めていたこと。一見したら特に気にすることもないかもしれない、日常の出来事です。けれどふと、この価値観はどこからきたんだろうか?と問いかけるようにしていて。ミズタさんはいかがです?

ミズタユウジ(以下ミズタ):最近になって、人とモノ、男 女の性、心と身体、心象と現実、そして、アートとデザイン などの物事の境界線の存在をよく考えます。それらは交わる ことが出来るのか?もしくは既にその境界線は無くなってい るのか?私自身、ようやくその間にそっと足を止め、その場 所の世界をかすかに見れることを知りましたが、同時にその 行為には矛盾が生じる部分もあることも強く感じました。足 を止め周りを見渡すことは出来るが、どうしても埋められな い互いの距離がある。印象的に残っているのはある作家の作 品を鑑賞していた時。作品と私との物質的距離と感覚的距離 の差異と曖昧さの中に美しさを感じました。距離(空気)を 気持ちよく感じる、纏うということの心地良さが生まれたこ とに驚かされました。交わるのに困難な双方の距離を気にす るのではなく、その距離の中にある空気を感じ、心地よい違 和感として楽しむことが、私たちの五感以上の発見を知り得 ることにつながるのではないだろうか?と。



ブランドのデザインを考える時も、性別、人種を超越した中にある生活の質を大事にした心地よさを感じる方にモノコトを届けたいという想いを込めています。超越することはまだまだ先だと思いますが、FEEL MY FOOTSTEPSの文字通り、私の足音感じて、互いの距離を感じて、互いの空間を楽しんでほしい。まずは、足もとからスタートする、それも面白いですよね?FEEL MY FOOTSTEPSは、さまざま境界の距離をいかようにも変化させる新しいアプローチのブランドとして発展させいけたらいいなと考えています。

中川:ライフステージの変わり目や、環境の変化。流動的に変化する日々の中で生きているからこそ、ジェンダーのアイデンティティや価値観やその"間"にある距離や関係性は変化していくものだと感じます。無意識のうちに心の中にある価値観は、一見すると気がつかないくらい些細なものも多くあるのかもしれません。しかしその無意識が、時に自らだけでもく、人を苦しめてしまうこともあるかもしれない。だからこそ誰かの価値観にしばられることなく、そして自分自身の価値観をおしつけることなく、全ての価値観をAcceptすることはできなくても、お互いがUnderstandし合える世の中になったらいいなと。ブランドも始まったばかりですが、上質なライフデザインプロダクトやアート、情報を発信しながら、たらいいなと、フランドも始まったばかりでする。場所を作ることにつながったら、とても嬉しいですね。

Yuji Mizuta ミズタ ユウジ

アーティスト、アートディレクター

ミズタユウジの作品はドローイング、ベインティング、コラージュ、織や染め、刺繍やプリントなど多様な手法を用いて制作されている。繊細で緻密な構想から生まれるいくつものモチーフは、その背景にある様々なストーリーに応じて、テキスタイルや紙の上で変化をし、ある一つのビジュアルとして具現化される。多摩美術大学染織デザイン科織専攻卒業後、自身のブランド「textile+music」を立ち上げ、オリジナル生地・製品の販売を開始。パブリックアートの制作、ASICS, Found MUJI, ISETAN MITSUKOSHI、arflex Japanなどの企業や、アーティスト、スタイリストとのコラボレーション、デザイン提供なども行う。美術家として、東京、コベンハーゲン、シンガポールなど、国内外で個展を開催。近年はテキスタイルを用いた表現のほか、絵画や映像、対話を用いた実験的なパフォーマンスなど、様々な媒体の作品を制作している。台湾のアーティストとの交流を題材に制作した作品「Georgian Letter」がトリエンナーレCHIKUGO 2020特別賞受賞。

www.vuiimizuta.com

Hitomi Nakagawa 中川一未

株式会社FMFS代表

自身の経験から無意識の内に当たり前となっている価値観や偏見に対し、"問い"を 投げかけていきたいという思いから輸入企画商社勤務を経て株式会社FMFSを2021 年5月創業。経営者であると同時に2児の母として、自身も考え行動していくこと を通じ、人それぞれの普通や価値観、「あなたの普通 わたしの普通」を許容する 世の中になるよう、プロダクトや活動を通じて世の中にアプローチしていきます。